



あらかわ 誰もが安心して暮らし続けられる街づくり情報誌

# 社協だより

No.226

平成29年2月15日

ひらりちゃん  
荒川区社協キャラクター

あらかわ  
粋・活  
計画

区内の地域福祉情報はこちらから▶荒川社協ホームページ <http://www.arakawa-shakyo.or.jp/> E-mail [info@arakawa-shakyo.or.jp](mailto:info@arakawa-shakyo.or.jp)  
発行:社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会 〒116-0003 東京都荒川区南千住1-13-20 TEL 03-3802-2794(代) FAX 03-3802-3831

今号の注目記事

P1...『最期は自分らしく』

P2...『キラリ☆地域人』インタビュー

あなたは どう 逝きたい?

歳末たすけあい地域福祉募金 地域福祉啓発事業

## 最期は自分らしく

自分の人生の最期は自分で決めたい...誰もが願うこと  
ですよね。荒川区社会福祉協議会では、区民の皆さんが住み  
慣れた街で誰もが安心して暮らせるよう、多様な看取り方  
についてシリーズでご紹介します。

今回は第一弾。皆さんお気軽に  
ご参加ください♪

手話通訳あり



日時 平成29年2月25日 土曜日 14時から16時

会場 サンパール荒川4階 第二・第三集会室  
(荒川区荒川1-1-1 都電荒川線「荒川区役所下車」徒歩2分)

内容 第一部 「荒川区における在宅看取りについて」  
講師 荒川区医師会副会長  
斎藤医院 守屋仁布医師

第二部 「荒川社協法人後見におけるチームケアによる看取り事例紹介」

定員 100名 申込不要です。直接会場におこしてください。

後援 荒川区・荒川区医師会・荒川区民生委員・児童委員協議会・荒川区介護サービス事業者連絡協議会・  
NPO法人荒川区高齢者クラブ連合会・ケアマネージャーネットワーク荒川・南千住東部地域包括支援センター・  
南千住西部地域包括支援センター・荒川地域包括支援センター・町屋地域包括支援センター・東尾久地域包括支援センター・  
西尾久地域包括支援センター・東日暮里地域包括支援センター・西日暮里地域包括支援センター

問合せ 成年後見センター あんしんサポートあらかわ Tel:3802-3396 / Fax:3891-5290 まで



### 社会福祉制度改革

社会福祉法人荒川区社会福祉協議会  
会長 三嶋重信



年が明け、すでに2月、陽の光にも春の兆  
しを感じるようになりました。  
さて、暮れには歳末たすけあい・地域福祉  
募金にご協力いただき、ありがとうございました。

町会・自治会の皆さまにおかれましては、  
毎年、暮れのお忙しく、寒い中、戸別の募金  
活動を実施いただき、心より感謝申し上げます。  
また、今年度も昨年度に引き続き、街  
頭募金や職域募金の拡充に努めました。結  
果、目標額の1,400万円を上回る募金額  
となりました。また、年末には民生委員・児  
童委員協議会のご協力により、一人暮らし  
の高齢者や在宅の障がい児の方々にお見舞  
品をお届けすることができました。ありが  
とございました。

今日の急速な高齢化や、地域社会及び家  
族のあり方の変化等に伴い、福祉ニーズが  
多様化・複雑化する中、公益性と非営利性を  
備えた社会福祉法人の役割はますます重要  
となっております。このような状況を踏まえ、  
「社会福祉法人制度の改革」をひとつの目標  
に、平成28年3月31日、社会福祉法が改正さ  
れました。今年の4月1日からの施行に向  
けて、全国すべての社会福祉法人が定款改  
正を行い、1.理事会・評議員会等の「経営組  
織のガバナンスの強化」、2.定款・事業計  
画・財務諸表等の公表などの「事業運営の透  
明性の向上」、3.「社会福祉充実残額(純資  
産から事業の継続に必要な財産を控除等し  
た額)の明確化など「財務規律の明確化」、  
4.既存の制度では十分に対応できない福  
祉サービスの実施等の「地域における公益  
的な取組を実施する責務」などに取り組み  
準備を進めています。

荒川社協はすでに取り組んでいること  
もありますが、さらに身を引き締めて、新  
たな局面に対応していく重要な年となるこ  
とと考えております。

荒川社協が目指すところは、「誰もが安心  
して暮らし続けられる街づくり」に変わり  
はありません。本年も、より大きく地域福祉  
の輪を広げていきたいと存じます。皆様の  
ご協力をよろしくお願い申し上げます。